※サンプル資料　実際の配布資料は、全14ページのWord形式（編集可能）です。

【様式2】

ものづくり技術

過年度、以下の補助金に採択され事業に取り組んでいる方は、該当欄に受付番号を記入してください。										
① 平成 24 年度補正ものづくり中小企業試作開発等支援補助金										
② 平成 25 年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業	2	5								
③ 平成 26 年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金	2	6								
④ 平成 27 年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	2	7								

事業計画書

（１）応募者の概要等

1. 応募者の概要

企　業　名：株式会社●●●			
（法人番号※）	●●●●●●●●●●●●●	（マイナンバー（個人番号）は記載しないでください）	
代表者の役職及び氏名：代表取締役　●●●			
住　　所：（〒●●●－●●●）●●●●●●			
電話番号：●●●●●●●●●●		FAX番号：●●●●●●●●●●	
補助事業の実施が本社の所在地と異なる場合の実施場所 住　　所：（〒●●●－●●●）●●●●●● 事業所名：●●●●●● （本社住所ではなく本欄の住所で事業を行う場合は、本欄記載の都道府県の地域事務局に事業計画書を提出してください）			
電話番号：●●●●●●		FAX番号：●●●●●●	
担当者の役職及び氏名：●●●●●●　●●●●●●			
担当者のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：●●●●●●			
資本金（出資金）	●●　万円	従業員	●●　人
主たる業種（日本標準産業分類、中分類）	●●　●●	創業・設立日	●●年●●月●日

※　法人番号欄には、法人の場合は法人番号１３桁を、個人事業主等（法人番号がない場合）は「なし」と記載してください。
※　法人番号欄に記載がない場合は、書類不備とさせていただくことがありますので、必ず記載してください。

2. 株主等一覧表

（平成●●年●●月●●日現在）

主な株主又は出資者 （注）出資比率の高いものから記載し、大企業は【　】に◎を記載してください。６番目以降は「ほか○人」と記載してください。	株主名又は出資者名	所在地	大企業	出資比率(%)
①	●●	●●	【　】	●%
②	●●	●●	【　】	●%
③	●●	●●	【　】	●%
④	●●	●●	【　】	●%
⑤	●●	●●	【　】	●%
⑥	ほか●●　　人			●%

3. 役員一覧（監査役を含む。別紙として添付することも可能です）

役職名	氏名	フリガナ	生年月日				男女別	会社名 注.他社と兼務の場合
			昭和・平成	年	月	日		
●●	●●	●●	●●	●	●	●	●	
●●	●●	●●	●●	●	●	●	●	
●●	●●	●●	●●	●	●	●	●	

4. 経営状況表（注）直近２期分の実績を記載してください。

（単位：百万円）

	平成●●年●月～平成●●年●月	平成●●年●月
①　売上高	●●	●●
②　経常利益	●●	●●
③当期利益	●●	●●

sample

（２）事業内容（枠に収まらない場合は、適宜拡げてください。複数ページになっても結構です）

１．事業計画名（３０字程度） ●●●●●●●●●●●（強み×革新性･成長性･市場性）	本事業で取り組む対象分野となる業種 （日本標準産業分類、中分類） ●●●●

２．事業計画の概要（１００字程度）

●●●●によるオリジナルシステム開発と当システムに即した●●●●機導入により、●●●●工程の属人化といった技術的課題を解決。●●●●に依存した●●●●工程をサーバ内で自動処理化し、24時間無人作業を可能とする革新的な●●●●工法を確立する。

（※）１．事業計画名に則って、現状の課題を明確にし、下記５．事業の具体的な内容による効果を記載してください。また、公表して支障のあるノウハウや知的財産権等を含む内容は記載しないでください。

３．対象類型の分野

中小ものづくり高度化法の１２分野の技術との関連性（公募要領３４ページ）について、該当する項目に☑を付してください（複数選択可）。

□デザイン	☑情報処理	□精密加工	□製造環境
□接合・実装	□立体造形	□表面処理	☑機械制御
□複合・新機能材料	□材料製造プロセス	□バイオ	□測定計測

４．事業類型の内容

	第四次産業革命型	一般型	小規模型
いずれか１つに☑	□	☑	□ 設備投資のみ □ 試作開発等
該当する箇所に☑	① IoT 機能（１種類以上選択） □ 監視 □ 保守 □ 制御 □ 分析 ② IoT への付加機能（１種類以上選択） □ AI □ ロボット （※）①と②の両方に☑を付す必要があります	雇用・賃金拡充への取組み（該当する場合に選択） □ 雇用増(維持)･5%賃上げをする □ 10%賃上げをする （※）該当しない場合は、☑不要です。該当する場合は、【様式３】の提出が必要になります	

５．事業の具体的な内容　（※）主にこの内容を審査委員会で審査します（記載の分量で判断するものではありません）。

その１：革新的な試作品開発・生産プロセスの改善の具体的な取組内容

（※）公募要領１９ページ「５．事業の具体的な内容　その１：具体的な取組内容」を参照し要点を押さえて記入してください。

（１）事業内容：総合●●業務

弊社は昭和●●●●年に東京都にて創業。●●●●など、顧客や社会のニーズにいち早く応えるとともに、システムやインターネット環境へも迅速に対応。●●●●などの各種●●●●を行うとともに、自社で「●●●●」というウェブサイトを立ち上げて、個人の●●●●需要を早期に取り込んでいる。

（図）弊社製品例

写真を添付　　写真を添付

sample

＜商品別（事業別）売上・粗利＞

	商品名	商品別売上・粗利（概算）		顧客別		売上高
1位	●●	●百万円	●百万円	1位	●●	●百万円
2位	●●	●百万円	●百万円	2位	●●	●百万円
3位	●●	●百万円	●百万円	3位	●●	●百万円
	その他	●百万円	●百万円		その他	●百万円
	合計	●百万円	●百万円		合計	●百万円

（2）弊社の強み

弊社の強みは、同業他社では例を●●●●●●●である。中小規模の●●業では稀な特徴として、●●●●●●●であり、●●●●●●●に積極的に取り組んでいるという強みがある。結果、粗利率も●%と同業平均の●%と比べて大きな強みがある。

	項　目	弊社	競合他社
1	システム対応力	高品質のデジタル●●技術の導入により、●●●●●●●が可能。また●●●●●●●による微調整が柔軟にできるため、顧客要望にきめ細かく対応できる。	社内に●●●●●●●している企業は非常に少ない。
2	高効率性（短納期）	●●●●●●●を駆使することで業務の効率化を積極的に行い、短納期を実現している。	従来のオペレーターによる手作業がボトルネックとなる場合が多い。
3	品質管理力	●●●●●●●（例えば●●●●●●●●など）を●●●●●●●●●●●●●●●し、●●●●●●●●●●●●●●●を徹底。インターネット経由のご注文でも細かな確認や連絡を行っていることが好評を得ている。	納期とコストの都合上、通常は●●●●●●●を確認する作業や工程は最終の検査工程のみである。また、顧客との連絡も限定されており、商品到着時にミスが判明することが殆ど。
4	改善力	常に顧客のニーズや業務の改善点に気を配り、よりよいものを追求する姿勢を重視している。	問題が発生してから業務を見直す場合がほとんど。

（3）本事業の概要・目的

●●●●●●●を置き、●●●●●●●を追求する弊社では、ボトルネックの改善や新規技術の導入を常に目指している。現在も部分的な自動化を積極的に導入しているが、今後は●●●●●●●工程を全面的に刷新し、オペレーターによる●●●●●●●作業が不要となる工程の全自動化に取り組んでいく。弊社のシステムからの入力を介さずに●●●●●●●作業の全工程が可能となる「●●●●●●●」の実現を目指す。

競争が厳しさを増している近年では、海外とのコスト競争も激しくなっており、限られたパイの中での競争からの脱却を図り、新規需要を開拓することが可能な革新的なシステムであると自負している。本事業は「●●●●●●●●●●●●●●●」という課題を解決することで、すべて

Sample

の●●●●●●●工程をデジタル化し、●●●●●●●業界の新たなビジネスモデルを構築する革新的展開を目的とする。その結果、下記のような新展開を図り、新たな活路を見出すための事業と位置付けている。

【現状】
・部分的な自動化を実施
・●●工程における手作業の発生

【技術的な課題】
① ●●工程を想定したシステム設計をしていない
② オペレーターによる●●などのチェック作業が自動化困難

【助成事業後の方向】
① ●●工程のデジタル化
② 24 時間受注・●●作業可能
③ 新ビジネスモデル「クラウドパブリッシング」を軸とした新規需要開拓

【課題解決方法】
① ●●の活用により全面的なシステム再構築を行う
② 弊社自動化技術を応用し、●●の●●作業を完全自動化する
③ 上記を実現するための設備投資

（図）本事業完了イメージ

図やイメージを掲載

sample

（4）本事業の革新性

本事業の革新性は①●●●●●●●●●●●●という弊社独自の強みを活かして、②●●●●●●●●●●●●●●●といった極めて高い効率性を有する事業を展開することにある。

希少性	・単なる複合機の導入ではなく●●●●●●●●●●●●を行う。同要件の●●●●を行うためには●●●●●●●●●●●●に多大な労力とコストが必要で容易に模倣することはできない。 ・弊社の厳格な品質管理基準を●●●●●●●●●●に組み込む。
市場性	・インターネット●●の普及により、●●需要は小ロット化している。小ロット化によって●●需要は●●●●から●●●●と移行しておりこういった市場の流れと符合する。
生産性向上	・24 時間無人対応可能な生産工程を構築できる。注文があり、●●●●されるとそのまま●●●●まで完了する。 ・本事業におけるシステムでは、●●工程のみならず請求書・見積発行や●●●機能といった付随業務についてまで自動管理する。システムによる自動化の幅が広く、高い生産性向上が可能。

【Ⅱ.本事業の詳細】

（１）業界の現状と弊社の課題

弊社を取り巻く状況は、下記の様になっている。

① 顧客環境： ●●は減少傾向にある。●●が発生する場合は高品質・小ロット・短納期などの競争が激化しているため、これらのハードルがクリアされていることが受注の条件として重要となる。

② 競合環境：市場が縮小傾向にあり、競争は激化している。価格競争になりがちであり、利益率の確保が難しい。

③ 自社環境： ●●を中心とした事業展開であるが、●●のオンラインビジネスも展開しており、システム構築により自動化をすすめ、社内資源に負荷をかけない形で新規需要の取り込みに成功している。今後は、インターネット経由でお取引いただいた顧客を対象として●●サービスのクロスセル（他商品の提案）を行うことが課題である。

上記のような厳しさを増している環境において、弊社の強みを活かして市場ニーズに柔軟かつ迅速に対応していくためには、①●●●●●●をいかに活用し●●工程を統合・自動化するか、②不要な作業をいかに削減し生産性を向上させるか、③高品質・小ロット・短納期などの顧客対応をいかに柔軟にできるかが課題となっている。

	課　題	課題の内容
1	●●工程の自動化の不完全性	現状でも●●●●による●●●●積極的に進めているが、自動化は部分的に行われており、工程全体の統合には至っていない。具体的には●●や●●などについては自動化できておらず、システム改修の余地がある。
2	オペレーター依存業務によるボトルネック	●●後に●●前工程として●●●●などのチェック作業があるが、現状ではオペレーターが手作業で行っている。そのため、●●工程の開始が営業時間内にしかできない。 →オペレーターによるチェック風景の写真を挿入お願いします。
3	●●工程の煩雑化による非効率性	現状では受注が増えると特に●●前工程での検査やデータ規格変更に人的作業が増えるため、コストも増え、規模の利益が発揮しづらい。
4	小ロット化による●●品質確保	ロット数が低下するにつれて、ミスの許容度が少なくなってくるため、高い●●精度が求められる。しかしながら、現状、●●や●●といった●●不良が発生し、●●品質上課題がある。 →●●不良の写真を挿入お願いします。

sample